

今夏のマラソンテストイベント（MGC）における 暑さ対策の検証状況

1 検証の日時・場所

- ・令和元（2019）年9月15日、MGC（マラソングランドチャンピオンシップ）の沿道や港区立芝公園等において、庁内関係機関等と連携し、暑さ対策に関する試行・検証

2 検証の主な視点

- ・暑さ対策設備（ハード対策）の効果測定、利用者満足度の検証
- ・暑さ対策グッズ（ソフト対策）の利用者満足度の検証
- ・路上競技沿道での救護における医療用車両の活用

3 試行及び検証の概要等

（1）主な検証項目

＜ハード対策＞

- ・休憩所（テント＋スポットクーラー、ウォーターサーバー）
- ・極微細ミスト
- ・フラクタル日除け、ベンチ

＜ソフト対策＞

- ・体を冷やす（ネッククーラー、瞬間冷却保冷材、かち割り氷）
- ・風をあてる（手回しファン、メガホンうちわ）
- ・日差しを遮る（紙製サンバイザー）

＜医療・救護＞

東京 DMAT カーやテントを活用した救護所（医師・看護師を配置）

（2）主な検証結果

＜ハード対策＞

- ・テントによる日除けと送風機等を組み合わせた場合は、暑さ対策指数の低減効果が高く、利用者からも好評
- ・日陰のない場所に単独で設置したミストは低減効果が限定的
- ・ウォーターサーバーは利用者も多く、マイボトルへの補水にも活用

＜ソフト対策＞

- ・「体を冷やす」グッズは概ね高い評価。特に首元を冷やすグッズ（ネッククーラー等）の評価が高い。

＜医療・救護＞

- ・路上競技沿道における車両やテントを活用した医療救護活動は有効。交通規制下では救急搬送には工夫が必要

（3）その他

- ・途中棄権者の状況
男子3名（参加者30名中）、女子1名（参加者10名中）